

科 目 名

**ドイツ語 I**  
**German I**

2年 前期 2単位 選択

福 山 洋

概 要

ドイツ語 I では、現代標準ドイツ語への入門となるようなドイツ語理解の基本を学ぶ。現代標準ドイツ語の全体像を得るためには前期（ドイツ語 I）・後期（ドイツ語 II）の 1 年間が必要であるため、前・後期とも継続して受講することが望ましい。

学習目標

1. 現代標準ドイツ語の理解と運用のための基礎を作る。
2. 国際人として生きるための基本的な姿勢、国際理解・異文化理解の姿勢を養う。

授業計画

テ ー マ	内 容
1. オリエンテーション	前期授業の全般的な説明。
2. 動詞の現在人称変化 I	動詞は主語の人称と数とに応じて語尾が変化する。その変化を学ぶ。
3. 語順	基本的な語の並べ方を学ぶ。
4. 冠詞	英語の the（定冠詞）や a・an（不定冠詞）に相当するものを学ぶ。
5. 名詞の格変化	ドイツ語の名詞はとても個性的。その特徴と役割を考え学ぶ。
6. 動詞の現在人称変化 II	動詞の現在人称変化 I で学習した以外の特殊な動詞について学ぶ。
7. 命令形	相手によって命令の形は変わる。
8. 冠詞類	冠詞で学習したものによく似た形のものを学ぶ。
9. 指示代名詞・疑問代名詞	それぞれの運用学習。
10. 人称代名詞の格変化	私、君といった人称はその役割に応じて変化する。
11. 前置詞の格支配	前置詞は後ろに来る名詞や代名詞に対して特定の形を要求する。
12. 話法の助動詞	本動詞を助け様々なニュアンスを添える品詞。
13. 従属の接続詞	特定の接続詞を使用した場合の配語法を学ぶ。
14. 分離動詞	基本動詞の前にいろいろな前綴りがついた動詞を学ぶ。
15. 再帰動詞 es の用法	再帰代名詞と共に用い、ひとつのまとまった意味を持つ動詞を学ぶ。 英語の it の用法が参考になる。

授業方法

講義と演習を行う。

評価方法

試験による（100%）。

教 材

教科書：春日正男 他著 怖くはないぞドイツ文法（朝日出版社）また、独和辞典を選定し、別途推薦する。

履修上の注意

学生個々人が辞書を検索しながら、与えられたテキストを読解できるようになることが当面の目標である。授業には、教科書と共に辞書も持参すること。

「建築計画コース・建築構造コース」における位置づけ	必修／選択の別	学習保証時間
本科目は、シラバスに記載されている建築学科の学習・教育目標の主として A 4 に関連する。	選択	22.5時間